

やまどり

発行：令和2年9月4日(金)

文責：杉下 奈津子



NO. 12

今週は行事が盛りだくさん！

9 / 1 (火)



防災の日

本日、9時頃、福井県嶺北を震源とする震度5弱の地震が発生しました。岩手県久慈市からは遠く離れたところではありますが、この地域の方々の安全を願わずにはられません。

さて、山中では9/1(火)、今年度2回目となる避難訓練が実施されました

。今回は地震発生による避難を想定したものです。東日本大震災は、来年3月には10年が経とうとしており、3年生でさえ就学前の出来事ですから記憶にはないのかもしれませんが、しかし、大災害の際、きっと今中学生の皆さんも地域の力となるはずですよ。

本校は、洪水・地震発生時の指定緊急避難場所となっており、その時利用するための太陽光発電施設

の設置工事の真ただ中です。いつ、また大きな災害がくるかわかりませんが、その時に備え、心構えはしっかりもっていただきたいものです。

下の写真は、1階ホールで地震により長机・パイプ椅子等が散乱した状況の設定を、事後、片付けてくれている生徒たちです。指示されたのではなく自主的に片付けてくれている様子を見て、思わず写真を！ ありがとうございます。心優しい山中生、大災害の際もきっと大活躍してくれるはず！



思春期講演会 兼 PTA家庭教育学級

精神科医として、今中学生に伝えたいこと
～ネット・ゲームが人間関係に及ぼす弊害～

講師

社会医療法人智徳会
未来の風せいわ病院
精神科医
智田 文徳 氏



2日(水)の講演会には、保護者・地域の方々を含め、77名の参加で開催されました。

参加者全員が会場を動く智田先生からのアンケートに始まり、「依存症」や「人間関係の大切さ」について学びました。講演内容の一部を紹介します。

「好き」で「やりすぎ」ていても、注意されてやめられるなら、まだ「健康」

依存症とは？ 物質の使用(お酒、覚せい剤など)や行為(ネット、ゲームなど)を、コントロールできなくなってやりすぎてしまい、生活に悪影響が出る病気。

講演の中ほどで、智田先生から参加者にこのような質問が……。

「あなたがゲーム開発者だとしたら、ゲームをヒットさせるために、どんなゲームをつくりませんか？」

グループで考え、発表。さまざま意見が出されましたが、「ゲームをつくる人たちは……」と先生は話され、「ここにいるみんながお金をいっぱいつかって、長い間遊んでくれると嬉しいのです！ つまり、みんながゲーム依存になるように考えてゲームをつくっているのです」と。(なるほど、確かに会社は利益を出さなければいけませんから。)

さて、依存するかしないかは、脳のしくみも交えて説明されました。「本能」と「理性」。赤ちゃんには「理性(心のブレーキ)」がない。「理性」ができてくるのは、25歳になったころ。だから、依存しやすいものは、年齢制限が……、お酒、たばこ、パチンコなど……。

ネット・ゲーム依存になりにくい人の特徴

- ・自分の良いところも、悪いところも知っている
- ・学校に居場所がある
- ・悩んだ時や困った時、人に頼ることができる

辛く、苦しい時“力”になるもの？

「本音で話ができる“人”の存在」

「“人”を苦しめるものが“人”なら、

“人”を救えるのも“人”」

人間関係に思い悩む時期の中学生にとって、ネット・ゲームの依存症のみならず、人とのつながりの大切さを学ぶことができた貴重な時間となりました。

1学年「総合的な学習の時間」講演会

働く人に聞いてみよう（進路学習）

講師

有限会社 総合農舎山形村

山口 慎一 氏

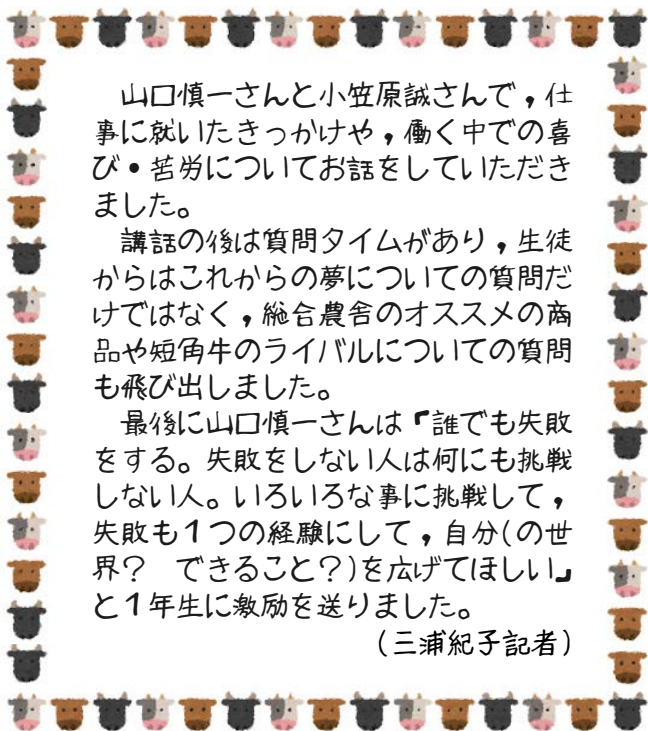
小笠原 誠 氏

次のことをねらいに3日(木)5校時実施。

1学年「総合的な学習の時間」

テーマ「地域に生きる」

- (1) 人との触れ合いを通して、視野を広げる。
- (2) 山形町の産業についての理解を深める。
- (3) 「働くこと」についての知識を広げる。
- (4) 体験活動やスキル学習を通して、調査方法・まとめ・発表の仕方などを学ぶ。



山口慎一さんと小笠原誠さんで、仕事に就いたきっかけや、働く中での喜び・苦労についてお話をいただきました。

講話の後は質問タイムがあり、生徒からはこれからの夢についての質問だけでなく、総合農舎のオススメの商品や短角牛のライバルについての質問も飛び出しました。

最後に山口慎一さんは「誰でも失敗をする。失敗をしない人は何にも挑戦しない人。いろいろな事に挑戦して、失敗も1つの経験にして、自分(の世界? できること?)を広げてほしい」と1年生に激励を送りました。

(三浦紀子記者)

司会進行は、颯志さん。



最後にみんなで集合写真。



2学年「総合的な学習の時間」

スポーツこころのプロジェクト

「スポーツこころのプロジェクト」は、日本のスポーツ界が一丸となって、東日本大震災で被災した「すべての」子どもたちの、「こころの回復」を応援するためのプロジェクトです。

スポーツ笑顔の教室

夢先生と子どもたちが遊びと対話を通してコミュニケーションを図っていきなで、子どもたちが笑顔や元気、自信を取り戻し、自身の力や可能性について気付けるよう導いていくものです。原則として小学校5年生、中学校2年生を対象に、クラス単位で実施。

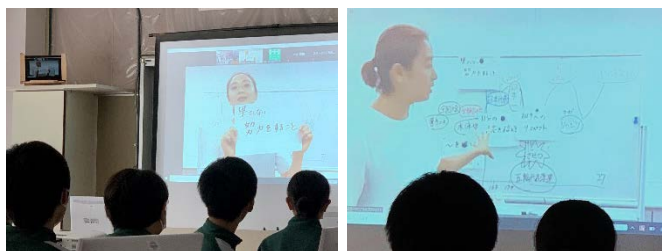
※ 7月に夢先生が来校しての実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、今回は山中パソコン室と夢先生の会場とをつなぐオンライン版での開催となりました。

夢先生：伊藤 華英（いとう はなえ）氏



東京成徳大学高校時代に高校総体、国体で優勝。日本大学進学後は、2003年の日本選手権水泳競技大会で100m背泳ぎ、2005年大会では200m背泳ぎ、2006年大会では両種目を制し、2006年のパンパシフィック水泳選手権では100m背泳ぎで優勝。2008年の日本選手権水泳競技大会100m背泳ぎで日本記録を更新、同年に開催された北京オリンピック100m背泳ぎで8位入賞。北京オリンピック後は種目を自由形に変更。2012年には、2大会連続となるロンドンオリンピック出場。その後、同年に開催された国体を最後に、現役を引退。

～スポーツこころのプロジェクトHP 夢先生紹介ページより抜粋～



夢先生の幼少期から現在までを振り返り、その時々でのご自分の気持ちや心の持ちようなど、途中、生徒に質問を投げかけながら、キーワードをもとに60分間お話ししてくださいました。

キーワード：「果てしない努力をすること」「自分の信念を信じる」「多様な価値観」「相手へのリスペクト」など、素敵な言葉でした。

最後に、爽良さん、翔太さん、悠さんが自分の夢🌟を発表してくれました。これもまた、素敵な夢ばかりでした。

詳細は、後日、生徒たちが記入した『宝物シート』が夢先生から戻りしたい、お伝えします。



ありがとうございました

熊目撃情報の時から心配されておりました、登下校時に生徒が通る国道からの階段の茂りすぎた雑草。2日(水)夕方、蒲野さん(3年和さん)、成谷さん(3年優瞳さん)、大畑さん(1年勢那さん)、B&Gの角さん、十文字さんの5名

で1時間半ほどかけてきれいにいただきました。

